

先日はてがたんにご参加いただきありがとうございました。てがたんの観察記録のレポートを作成しましたので、ご覧ください。次回2月の「てがたん」は2月13日(土)で「冬の鳥の食べ物探し」がテーマです。ご都合のつく方は、ぜひご参加ください。
*市民スタッフの方へ 次回のとがたん下見&打ち合わせは2月6日(土)です。よろしくお願いいたします。

1月の観察コースと内容

- コース：鳥の博物館→漁協前→手賀沼遊歩道
- 観察日時/天気 2016年1月9日(土) 10:00~12:00 / 晴れ
- 参加者 24人(一般17人、子ども7人)
- 市民スタッフ 5人(伊東茂子、大嶽若緒、蒲田知子、木村 稔、染谷迪夫)
- 鳥博職員 1人(塩田いづみ)

観察記録 - 1月てがたんで観察した生き物リスト-

【鳥類】

カモ科：カルガモ、オナガガモ、コガモ/カイツブリ科：カイツブリ、カンムリカイツブリ/ハト科：キジバト/ウ科：カワウ/
サギ科：ダイサギ、コサギ/クイナ科：オオバン/カモメ科：ユリカモメ/ミサゴ科：ミサゴ/カワセミ科：カワセミ/キツキ科：コゲラ/
モズ科：モズ/カラス科：ハシボソガラス、ハシブトガラス/シジュウカラ科：シジュウカラ/ヒヨドリ科：ヒヨドリ/ムクドリ科：ムクドリ/
ヒタキ科：ツグミ、ジョウビタキ/スズメ科：スズメ/セキレイ科：ハクセキレイ/アトリ科：カワラヒワ/ホオジロ科：オオジュリン/
外来種や家禽：コブハクチョウ、ドバト

【花】

キク科：オニノゲシ、ハルノノゲシ、ノボロギク/シソ科：ホトケノザ、ヒメオドリコソウ/オオバコ科：オオイヌノフグリ/
ツバキ科：サザンカ、ツバキ

1月の観察アルバム



今回のてがたんのテーマは「冬鳥を楽しむ」でした。漁協の前の水辺にはオナガガモがおよそ30羽いました。ヨシ原の中にはスズメやオオジュリンが入っていました。杭の上で休むミサゴを見る事もできました。



今月の案内人 蒲田知子さん



木村 稔さん



1 じゃぶじゃぶ池でオオバンが泳いでいました。



2 棧橋にコサギがいました。



3 漁協前にいたオナガガモのオス。



4 手賀大橋の下あたりで歩いていたダイサギ。意外と水深が浅いようです。

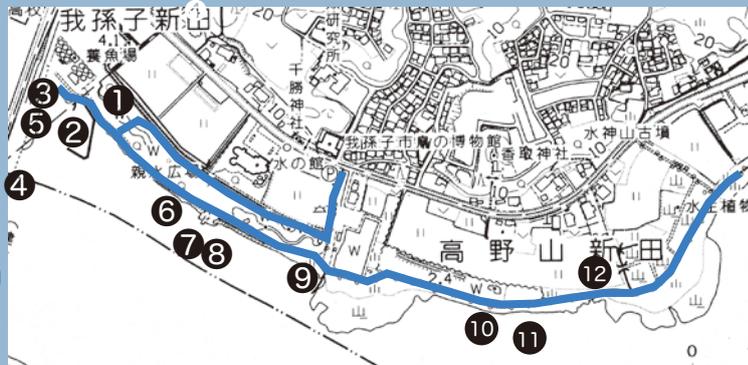


5 漁協前にいたオナガガモは、オス16羽、メス13羽でした。



6 オオバンの羽づくろい

手賀沼の水際で、ずっと羽づくろいをしていたオオバン。



1月てがたんの観察生物とルート



7 ユリカモメ

カッパの像の下にはたくさんユリカモメが休んでいました。



8 カッパの像とユリカモメ。



9 ヨシは茶色く枯れていて、ヨシ原の中にはスズメが多く入っていました。



10 顔を翼の下に入れて寝ているコブハクチョウ。でも目はこっちを見てました。



11 今回のてがたんではコブハクチョウがいたところで見られました。



12 シジュウカラがチーチーと鳴いていました。

今月の鳥 ミサゴ (タカ目ミサゴ科)

【分布】 極地を除く全世界に広く分布しています。

【生息地】 海岸、大きな川、湖などで採食し、海岸やの岩の上や大きな木の上に巣をつくって繁殖します。

ミサゴの足指の特徴

ミサゴの足指の第4趾は、前向きにも後ろ向きにも動きます。つまり前2:後2、あるいは前3:後1にも配置することができる足指です。獲物を捕らえる時は足指を十字に開きしっかりとらえます。また、足指の裏にはトゲがいくつもあり、すべりやすい魚をしっかりとつかまえることができますようになっています。



ミサゴ



足裏のトゲ